

令和 4 年 第 1 回 調布市議会定例会について（報告）

1 会期（2月28日～3月24日までの25日間）

2 市長提出議案・市長報告 計 4 2 件（教育部関連 5 件）— 全て可決

	案件名	概要
1	議案第 3 号 令和 3 年度調布市一般会計補正予算(第 9 号)	◎教育費総額 歳出：9,925 万円余 繰越明許費：1 億 5,469 万円余 【主な内容】※いずれも繰越明許費を設置 ・ ICT 教育推進に向けて教室にプロジェクターを設置する際の設定委託料及び備品購入（3,384 万円余） ・ 感染症対策に必要となる消毒薬等の購入（1,373 万円余） ・ 布田小学校校舎増築工事（先行工事分）（2,200 万円余） ・ 第八中学校プール改修工事（1,500 万円余） ・ 西部公民館の軒樋（のきどい）改修工事（1,268 万円余）
2	議案第 1 7 号 令和 4 年度調布市一般会計予算	◎教育費総額（69 億 1,688 万円余）※人件費を除く （前年度比 5 億 1,257 万円余，8.0%の増） 【主な内訳】 ・ 学校施設の維持保全（8 億 374 万円余） ・ 小学校における学級編成標準の引き下げ（3 5 人）への対応（4 億 4,017 万円余） ・ 学習環境の改善（2,010 万円余） ・ 学校施設整備方針に基づく整備（3,640 万円余） ・ 通学路の安全確保の推進（1,589 万円余） ・ 就学援助費の支給（1 億 5,837 万円余） ・ 学校給食調理業務等の民間委託の推進（4 億 3,397 万円余） ・ 地域人材を活用した教育の充実（6,165 万円余） ・ 学校における働き方改革の推進（1 億 3,435 万円余） ・ I C T 教育の推進（5 億 6,521 万円余） ・ 特別支援教育の推進（5,007 万円余） ・ 不登校児童・生徒への支援（2,330 万円余） ・ 八ヶ岳少年自然の家の大規模改修工事及び工事に伴う室内環境衛生検査委託（3 億 2,290 万円余） ・ 外部エレベーター設置工事（6,676 万円余） ・ 外壁・屋上防水改修工事（1,545 万円余） ・ 市民の読書・調査活動への支援（3 億 7,456 万円余）

	<ul style="list-style-type: none"> ・高架下保存庫の資料運搬・保管（1,016万円余） ・染地分館改修工事（2,572万円余） ・国史跡下布田遺跡の整備・活用（4,166万円余） ・武者小路実篤を核とした特色ある事業の展開（1,587万円余） ・武者小路実篤記念館の外壁及び屋上防水改修工事（3,044万円余）
--	---

3 令和4年度における基本的施策（市長）

4 基本的施策に対する代表質問（5会派）、基本的施策に対する質問（4会派）

5 陳情8件（うち、教育部関連1件）

	案件名	概要	結果
1	陳情第53号 2021年新成人のための2年遅れの式典開催に関する陳情	新型コロナウイルス感染症の影響で中止となってしまった2021年成人式について、感染拡大防止策を講じた形での開催を要望するもの。	審議未了

6 一般質問8人（うち、教育部関連2人）

○橋 正俊 議員（公明党）

質問要旨	<p>2 通学路の安全について</p> <p>(1) 横断歩道橋の凍結について</p> <p>ア 凍結に対する認識について</p> <p>イ 子どもたちの安全対策について</p>
答弁概要	<p>(教育部長答弁)</p> <p>市教育委員会は、学校、PTA、道路管理者、調布警察署と連携した通学路の合同点検を、地区を分けて毎年実施し、地域からの要望を含め、具体的な課題を共有する中で通学路における安全確保のための取組を継続的に行っております。</p> <p>現在、通学路として指定している横断歩道橋は、6つの小学校区で10箇所あり、地面から離れ高所にある横断歩道橋は、気温が低くなる冬場、また、雨や積雪時は橋の路面が凍結することがあるため、転倒などの事故を未然に防ぎ安全を確保することが必要であると認識しています。</p> <p>このことに関して、管理する北多摩南部建設事務所及び相武国道事務所に確認したところ、路面に滑り止めの舗装を施し、雪の日には、積雪の状況に応じて塩化カルシウムを散布し凍結防止を図っているが、気温が低く凍結が想定される場合は、錆による劣化が促進されるため散布はせず、また、転倒注意の看板等の設置については、強風により飛ばされ事故につながるため、設置はしないとのこと</p>

	<p>でした。</p> <p>このような中で、市教育委員会は、児童が安全に通学できるよう、横断歩道橋が凍結し、滑りやすくなっている可能性があることについても、学校安全・安心メールや学校だよりなど様々な媒体を効果的に活用し、子どもたちや保護者への注意喚起を行うとともに、学校を通じて地域住民等が参画する地域学校協働本部等への協力依頼を検討して参ります。</p> <p>今後も、保護者や地域、学校関係者やボランティアに協力をいただきながら、学校、道路管理者や調布警察署等関係機関と連携し、国や東京都が管理する横断歩道橋も含めた通学路の更なる安全対策に取り組んで参ります。</p>
--	---

○武藤 千里 議員（日本共産党）

<p>質問 要旨</p>	<p>1 子どもの権利が守られる市政推進のために (2) コロナ禍で明らかになった学校や保育園の課題について</p>
<p>答弁 概要</p>	<p>(教育部長答弁)</p> <p>はじめに、学校における新型コロナウイルスの検査体制の拡充についてです。</p> <p>東京都教育委員会は、オミクロン株による急激な感染拡大に伴い、感染状況を早期に把握し、更なる感染拡大・集団感染を防止するため、教職員における抗原検査や、宿泊行事などの教育活動における児童・生徒のPCR検査体制を整備しました。</p> <p>このことを受け、市教育委員会は、これらの取組の活用に向けて具体的な検査体制の検討を進めてきました。</p> <p>まず、教職員に対して、各学校が、学校運営の継続に必要と判断した場合に、実情に応じて定期的な抗原検査を実施しています。</p> <p>また、宿泊行事に向けたPCR検査については、参加する教職員及び児童・生徒の人数分のPCR検査キットの準備を進めてきました。</p> <p>更に、市独自の検査体制として、教職員及び児童・生徒に発熱等があった場合に、すぐに検査し、健康状態を把握することができるよう、抗原検査キットを配備しました。</p> <p>引き続き、東京都の取組の活用を図るとともに、市独自の検査体制については、調布市医師会からご助言いただきながら、検討を進めて参ります。</p> <p>次に、学校間の取組の共有や困りごとの相談体制、人的支援も含めた学校支援についてお答えします。</p> <p>現在、各学校では、新型コロナウイルス感染症対策について「調布市立学校における持続的な学校運営のための感染症予防ガイドライン」を踏まえ、必要な対策を講じたことで、概ね順調な学校運営が行われていると認識しています。</p> <p>各学校の取組については、校長会や副校長会、教務主任会などの機会を捉えて、適宜情報共有を図り、必要に応じて支援策を講じるなど改善に取り組んでいます。</p> <p>また、人的支援については、学校からの要請を受け、副校長補佐やスクールサポー</p>

	トスタッフ，スクールカウンセラーなどの追加配置を行っています。
--	---------------------------------

	引き続き，学校の要望を把握しながら，支援の充実に努めて参ります。
--	----------------------------------